

吉祥寺図書館リニューアル計画（概要版）



吉祥寺図書館リニューアル計画

発行年月：平成28年11月

発行・編集：武蔵野市教育委員会
（教育部 図書館）

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町4-8-3（中央図書館）
TEL 0422-51-5145

平成28年11月

武蔵野市教育委員会

施設の概要

吉祥寺図書館 (S.62 年開館)

住所 : 武蔵野市吉祥寺本町1-21-13
敷地面積 : 815.31 m²
延べ床面積 : 1,655.96 m²
階数 : 地上2階 地下1階

吉祥寺図書館は、吉祥寺駅前という恵まれたロケーションにあるコンパクトな図書館です。高齢者からビジネスパーソン、学生や子ども連れなど、多様な層の利用者がおり、周囲の方々に愛着を持たれています。

リニューアル計画策定の経緯

吉祥寺図書館は間もなく開館 30 周年を迎え、施設の老朽化への対応と施設の長寿命化に必要な保全工事を実施しなければならない状況にあります。今回のリニューアルに向けて、吉祥寺の地域特性や多様なニーズに対応するアイデアを具体化し、利用者サービスの向上を図るとともに、「本をきっかけとした新たなつながりづくり」を目指すため、本計画を策定しました。

現状と課題

・武蔵野プレイスの開館により、市内3駅圏に図書館を1館ずつ設置する3館構想が実現され、武蔵野市図書館基本計画においては、それぞれが地域や施設の特性に応じた蔵書資料、逐次刊行物の収集、レファレンスサービスの提供を行うこととされています。

・現在の吉祥寺図書館は、蔵書数、貸出数、予約件数といった図書館の主要指標において、他市の地域図書館に比べて同等以上の水準を有します。利用者に関しても、平日昼間においては高齢者、夕方以降は学生やビジネスパーソンの利用が多く、土日休日はこれに親子連れの子育て世代が加わり、多様な層で賑わう図書館です。しかし、一番の特色である吉祥寺駅近接で多くの来街者が訪れるという立地を強みとして発揮できていないのが現状です。

そこで、図書館としての基本的な機能を維持するとともに、地域や施設に応じた特徴を創出し、より魅力的な図書館を目指すため、次のとおり基本課題を設定しました。

- ① 吉祥寺図書館の魅力をいかに高めていくか
- ② 吉祥寺という街の特性、繁華街の真中にあるという立地をいかに活かしていくか
- ③ コンパクトな施設規模をいかに活かしていくか
- ④ 市の全体最適を目指す中で、図書館としていかに課題解決に取り組むか

計画の理念

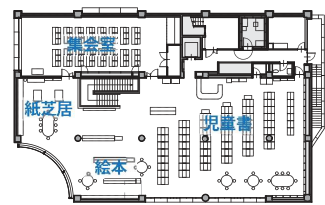
小さなオアシス吉祥寺図書館 ～気軽に楽しく知的な出会いを～

吉祥寺というエリアは子どもからお年寄りまで多様な来街者や地域住民を内含しています。利用者カードを持たない来街者、日頃利用しづらい子育て世代、利用の少ない中高生世代等、潜在的利用者を含めたすべての利用者が気軽に立ち寄りたくなる魅力的な図書館を目指し、多様な人々が本を通じて集まり、人とまちと図書館のネットワークを形成していく。そのような思いから上記の基本理念を設定しました。



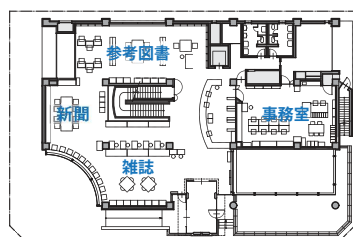
現状のフロア構成

2F



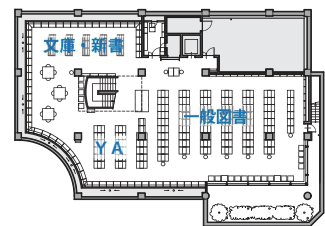
2階は子どものフロアとなっています。トイレ等の設備は古くなっており、授乳室やおむつ替えスペースの設置とともに、リニューアルを行い、子ども連れの利用者がより利用しやすいフロアとする必要があります。

1F



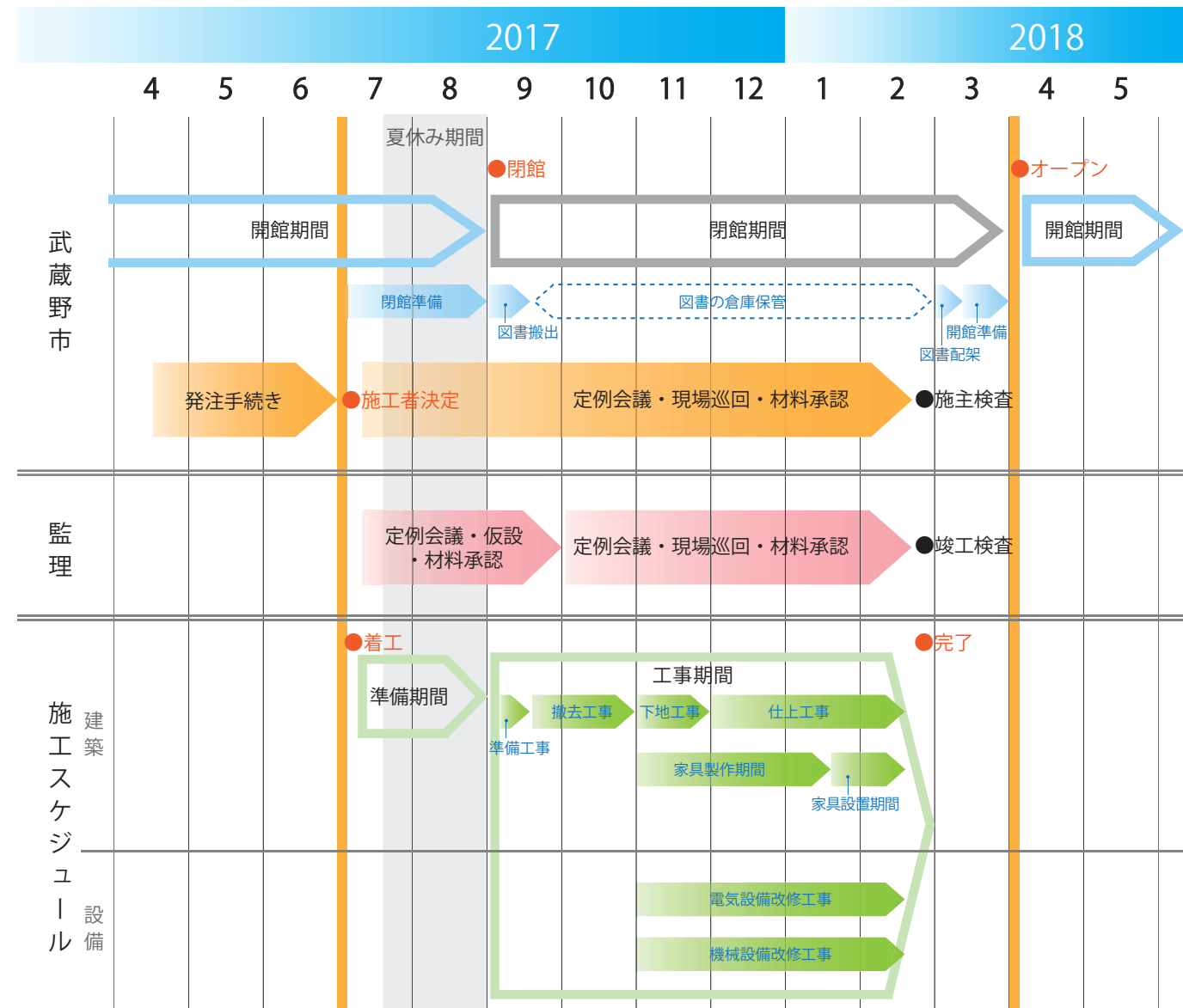
1階はエントランス、新聞・雑誌、参考図書のフロアとなっています。閲覧席の増席と、エントランスまわりが窮屈さの解消、事務室のレイアウトの変換の確保などが課題としてあります。

Bf



地階は一般図書のフロアとなっています。サンクンガーデンと吹抜けにより、光の入る工夫がされており、落ち着いた雰囲気となっています。蔵書数の増加と閲覧席の増席が求められています。

開館までのスケジュール



2F 絵本・児童書とYA図書のフロア

- ・西側の明るい場所に絵本のスペースを配置します。また、子どもトイレの充実や授乳室の設置により、子ども連れの利用者も利用しやすくします。
- ・学習・講座室を設置し、図書館のイベントやボランティア活動で利用できるスペースとします。また、その活動の様子が開架室からも見られるように、扉の一部をガラス入りのものに改修します。
- ・イベント等で使用しない日は、学習室として開放し、YAコーナーと合わせて、中高生の居場所をつくります。
- ・利便性向上のため、自動貸出機を新設します。
- ・親子連れでも利用しやすくするため、同フロアに生活関連本を別置します。

①学習・講座室

- ・図書館のイベントスペースや学習の場として使用できる学習・講座室を設けます。室内での活動の様子が見えるように、扉にはガラス窓を設けます。
- ・既存の可動間仕切りを維持し、部屋を2室に分けて利用できるようにします。
- ・中高生が図書館に来るきっかけとなるように、イベントのない時は、学習室として開放します。

②絵本のスペース

1) 素足で使える木の床

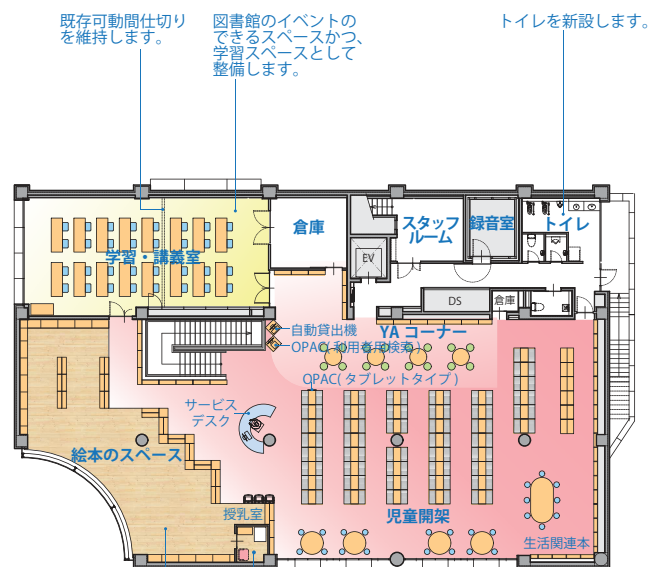
- ・はいはいやよちよち歩きの子どもたちを連れて安心して利用できるように、床は天然木板張りとし、喘息やアトピーなどの疾患に配慮すると同時に、おもらしや嘔吐の清掃もしやすいものとしします。
- ・床は他の部分より60mm程度高く設定し、上がりの付近に下足入れとベビーカー置き場を設置します。

2) 囲まれた安全なスペース

- ・本で囲み、児童のスペースと区画します。絵本架の高さは3~4段程度として、見通しを良くしながら、子どもたちの安全を確保します。

3) 授乳室の設置

- ・子育て世代にも図書館を利用しやすくするため、絵本のスペースに隣接して授乳室を設けます。授乳室には、ベビーベット、授乳用ソファ等を設置します。



絵本のスペースの床は本板張りとし、小さな子どもがはいはいできる場所とします。

絵本のスペースに隣接して、授乳室を設けます。

③YAコーナー

- ・吉祥寺図書館が中高生の居場所となるように、学習室に近接させて、YAコーナーを設けます。
- ・YAコーナーには、専用の閲覧席を設けます。



④トイレの設置

- ・2階の利用者が多くなることを想定し、2階にもトイレを設けます。
- ・子ども連れでも利用しやすいように、子ども用トイレとおむつ替えスペースを設けます。

⑤スタッフルームの設置

現在の倉庫をスタッフルームとし、急病人などが一時的に休める部屋としても利用します。

1F 地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア

- ・展示コーナーを新設し、時宜に合ったテーマ展示を行うとともに、地元密着(吉祥寺ならではの)情報の発信を積極的に行います。
- ・予約取り置きコーナーを新設し、予約本の受取りを自動で行えるようにすることで、予約本貸出の効率化と利用者のプライバシーを保護します。
- ・新聞・雑誌コーナーは、新聞専用閲覧席の設置や雑誌のレイアウトの工夫によって、様々な世代がそれぞれ気軽に利用でき、気持ち良く過ごせるように計画します。また、ICTコーナーを併設します。
- ・利便性向上のため、自動貸出機を増設、自動返却機を新設します。

①展示コーナーの設置

入口正面に展示コーナーを設け、吉祥寺ならではの地域情報の発信やテーマ展示を行います。地域の人たちはもちろん、来街者にも気軽に立ち寄りてもらう図書館を目指します。

②予約機能の充実

- ・現在は、すべての予約対応をサービスデスクで行っています。アンテナ付予約棚と予約照会機、自動貸出機を配置した予約取り置きコーナーを設けることで、予約本の受け取りをセルフで行うことが可能になり、より効率的に予約サービスを提供することができます。
- ・また、予約棚は最大2,700冊程度収容でき、今後の予約数の増加にも対応できます。

③ICTコーナー

- ・新聞・雑誌の電子版への対応も想定し、新聞・雑誌コーナーに近接させて「ICTコーナー」を設け、インターネットの閲覧環境を整備します。
- ・ICTコーナーには、データベース用PCを設置します。

④新聞・雑誌コーナー

- ・新聞・雑誌コーナーはレイアウトを大きく変更し、吉祥寺図書館の明るい雰囲気、外からも感じられるようにします。
- ・雑誌は、音楽やファッション、女性誌などを入口近くに配置し、若者や女性も気軽に利用できる雰囲気を作ります。
- ・北側には、新聞の専用閲覧席やゆったりと読むことのできるソファを配置し、落ち着いた雰囲気、図書館を日常的に利用する方たちにも快適な環境を提供します。

⑤トイレのリニューアル

トイレは開館後30年を経て劣化し、前時代的なものであることは否定できません。男女ともにトイレをリニューアルし、使いやすいものとしします。

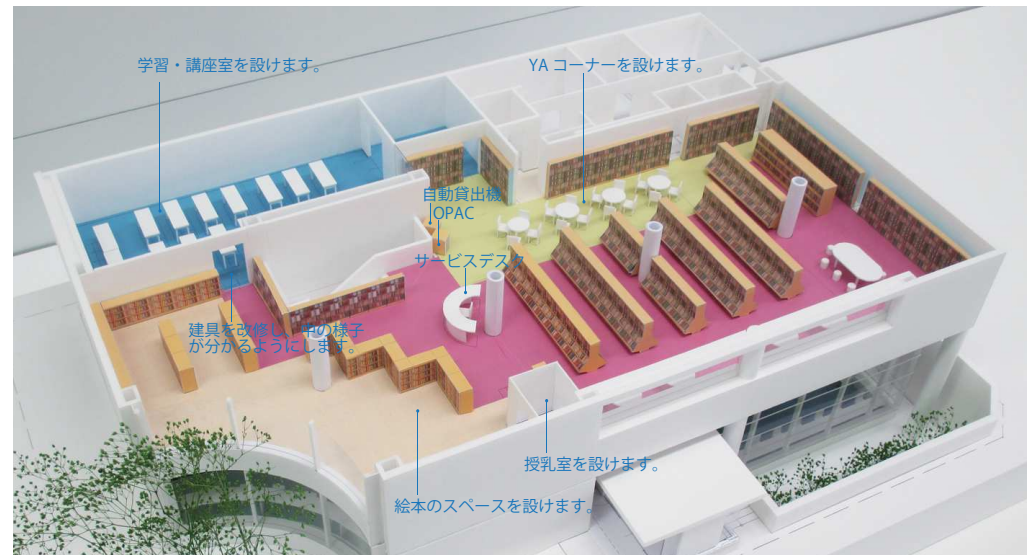
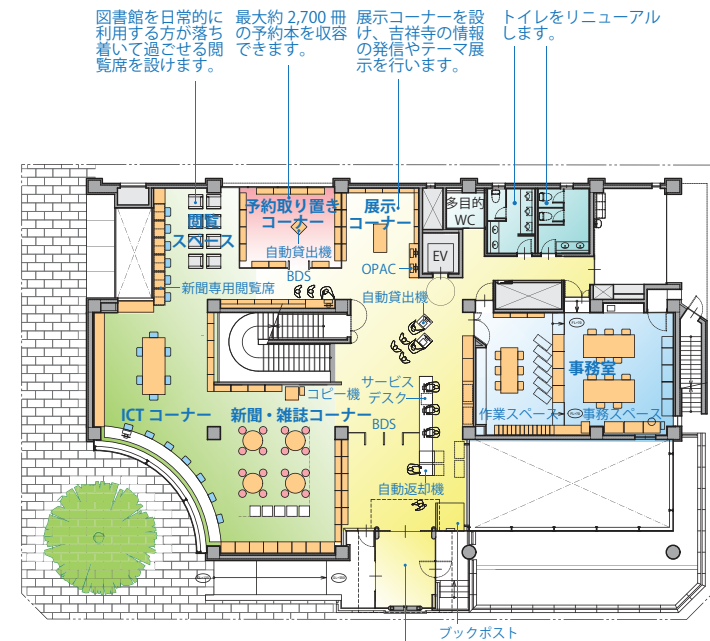
⑥エントランスのリニューアル

現在の入口とその周辺は、オリジナルの風除室とサービスカウンターの間に後からBDS(持ち出し防止装置)が設置され、窮屈な状態になっています。風除室を縮小し、入口まわりに余裕を持たせることで、より出入りしやすくします。



⑦事務室のリニューアル

- ・事務室をより作業しやすく、デスクのレイアウトに変異性を持たせるために、一部をOAフロアとします。
- ・返却処理等をスムーズに行えるように、作業スペースは入口側に配置します。

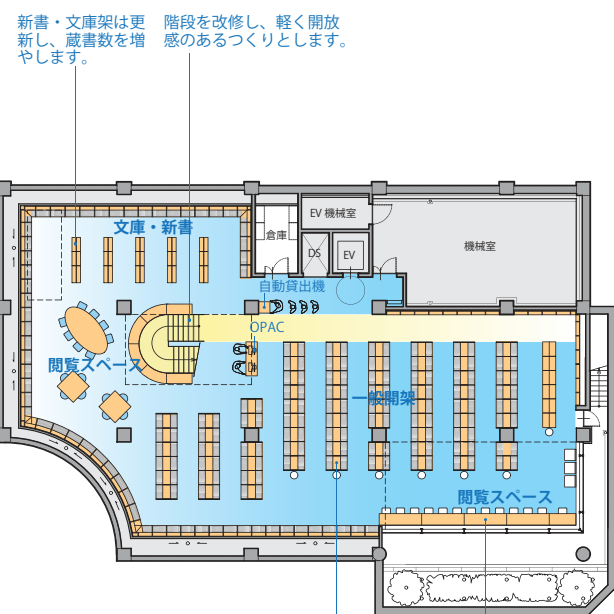
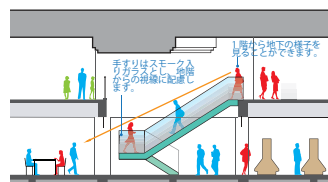


B_F 一般図書フロア

- ・地階は吉祥寺図書館の原設計の理念を継承し、設計者である鬼頭梓氏のデザインを活かしたものとします。
- ・書架はオリジナルのものにかさ上げを行い、収容冊数を増やします。また、カウンター席等の設置により、閲覧席の増席を行います。
- ・利便性向上のため、自動貸出機を新設します。

①階段を刷新して開放感を高める

- ・現在の1階から地階への階段はややかさばり、また、踊り場付近の手すりには覗き見防止の板が取り付けられ、階段周囲の吹抜けを開鎖的なものになっています。この状態を解消するために、シンプルで開放的なデザインに改修します。
- ・手すりはガラスとし、足元の不透明から上端で透明になるグラデーションとして、利用者のプライバシーに配慮しながら、開放感を高めます。

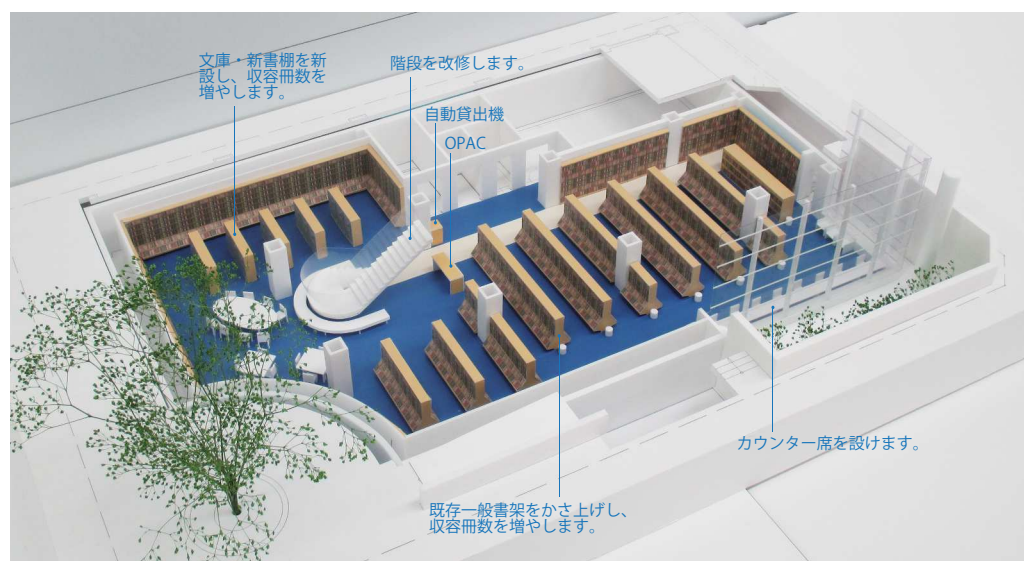


新書・文庫架は更新し、蔵書数を増やします。

階段を改修し、軽く開放感のあるつくりとします。

既存一般書架をかさ上げし、収容冊数を増やします。

カウンター席を設置し、座席数を増やします。サンクンガーデンの緑を見ながら読書ができます。



文庫・新書架を新設し、収容冊数を増やします。

階段を改修します。

自動貸出機 OPAC

カウンター席を設けます。

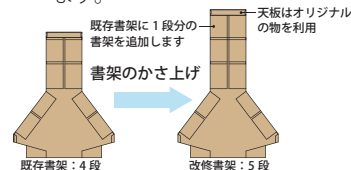
既存一般書架をかさ上げし、収容冊数を増やします。

②蔵書収容力を高める

地下1階現況収容数	45,000冊
地下1階改修後収容数	52,000冊
	+7,000冊

1)書架のかさ上げ

- ・現況の独立書架は、若干の経年劣化は見られるものの、良好な状態を維持しています。書架1連が750mm（一般には900mm）であることから棚板のたわみも極めて小さく、また、蔵書数の増加に対応してかさ上げが可能な設計がなされています。
- ・オリジナルのアイデアを尊重して、書架のかさ上げを行います。



2)文庫本架の更新

現在の文庫本架はやや収容効率が悪いため、更新を図ります。

③内装の更新

階構成に合わせた床の色彩デザイン

- ・壁はオリジナルの色で再塗装を施し、天井も塗装を施して、新築当時の明るさを再生します。
- ・床はシックでクオリティの高い色調のタイルカーペットに貼り替え、原設計のデザインと調和した雰囲気とします。



現在のRC（鉄筋コンクリート）階段は少々重い印象を与えます。地階の圧迫感をできるだけ感じさせないように、シンプルで開放的なデザインに改修します。



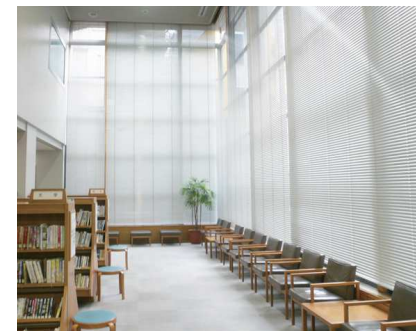
サンクンガーデン前は光も十分に入り、気持ちの良い場所となっています。ここにカウンター席を設け、地階の座席数を増やします。

リニューアルの視点

①施設の有効活用・長寿命化

吉祥寺図書館は、図書館建築の第一人者であった鬼頭梓氏が設計したもので、『市民の図書館』を具現化した日野市立中央図書館、日本建築学会賞を受賞した東京経済大学図書館などと共に図書館建築の王道を示すものです。また、公共建築として、建物の高耐久・長寿命化に主眼がおかれ、耐震壁を適切に配置した堅牢な構造、風化・劣化しにくい煉瓦の外壁など、社会インフラとしての公共建築のあり方が示されています。

・細部にまでおよぶ骨太の設計思想は施設の長寿命化に今後も寄与していくことから、オリジナルを尊重して細心の注意を払い、施設機能の更新を図ります。



既存の地階の様子

②ヘビーユーザーの重視

吉祥寺図書館は開館から30年を迎え、市民の生活に溶け込んでいます。

・図書館を使いこなし、繰り返しご利用いただいている方々の使い勝手を向上させ、ニーズに対応していくよう、蔵書、閲覧席の充実など機能の更新を図ります。

③新たな図書館利用者の開拓

イースト吉祥寺エリアの環境は、当図書館誕生を望まれた地域の活動により、子どもたちや若い人たちが立ち寄りやすい場所になりました。

・小さな子どもたちや子育てに奮闘する世代のニーズに対応して、小さな子どもと保護者が一緒に過ごせる場所を充実させます。

・また、中高生等のYA（ヤングアダルト）だけでなく、学習スペースやインターネット環境の整備など学生・社会人を視野にいれた若い世代に魅力的な図書館となるように施設機能の充実を図ります。

・吉祥寺は休日には多くの来街者で賑わいます。そうした来街者に気軽に立ち寄り楽しんでもらうため、展示スペースを設けて吉祥寺に特化した情報や様々な企画展示を行います。



自動貸出機のイメージ

④ライブラリー・オートメーション(L.A.)の導入

自動貸出・自動返却・予約本の自動貸出など、利用者のセルフサービスを促進するライブラリー・オートメーション(L.A.)は急速な進歩を遂げ、サービスの合理化だけでなく、利用者の時間の節約、個人情報の保護に寄与することが認知されてきています。

・将来の機器更新を視野に入れながら、投資費用に見合った機器の導入を計画します。



自動返却機のイメージ

⑤利用者ニーズを踏まえた適切な施設運営

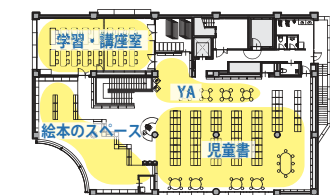
・平成27年度に実施した吉祥寺図書館利用者アンケート等で顕在化したニーズを踏まえ、開館時間の見直しを行います。

・「在り方」で示したビジョンの実現や昨今の社会状況の変化を考慮し、最適な運営形態への転換を図ります。

・今回のリニューアルが単純な設備更新にとどまらず、単なる利用者の枠を超えて支え合うなど、吉祥寺図書館が地域のつながりの創出に貢献していけるよう、施策を検討していきます。

・工事期間中も一定の図書館サービスを提供できるよう、方策を検討します。

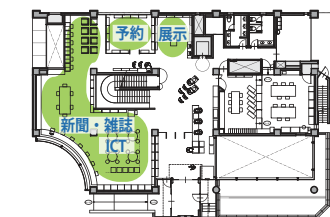
各階の構成



絵本のスペース
児童書
YAコーナー
学習・講座室 (Wi-Fi)

2F 絵本・児童書とYA図書のフロア

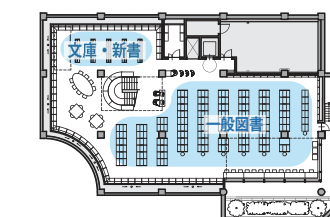
2階は子どもたちに、より本と図書館を好きになってもらえるような空間を目指します。子どもたちが靴をぬいで利用できる絵本のスペースの設置、YA世代にも足を運んでもらうためにYAコーナーを整備します。また、集会室を改修し、学習スペースやイベントのできる部屋として、学習・講座室を設置します。



エントランス
展示コーナー
予約取り置きコーナー
自動返却機
新聞・雑誌コーナー
ICTコーナー (Wi-Fi)

1F 地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア

予約取り置きコーナーの整備や自動貸出機・自動返却機の設置により、スピーディーなサービス提供、利便性の向上と個人情報の保護を図ります。吉祥寺に特化した地元密着情報などの発信を目的として、展示コーナーを整備します。新聞・雑誌コーナーをリニューアルするとともに、ICTコーナーを設置し、インターネット環境を整備します。



一般図書
文庫
新書

B_F 一般図書のフロア

地階は、オリジナルのデザインを活かしたフロアとします。蔵書数の増加と閲覧席の増席を図るため、文庫・新書書架の新設と既存の一般書架をかさ上げ、カウンター席の設置を行います。階段は多少重たい印象を与えるため、よりシンプルで開放的なデザインに改修します。